

①事業の基礎情報

事業名		企業誘致事業				担当部・グループ名		都市政策部 企業支援グループ				
実施期間		平成 26 年度～平成 29 年度				担当 GL 氏名		島口 靖				
新規・継続の別		継続事業				電話番号(内線)		52-1111(内線 286)				
総合計画 (基本計画) 体系	個別目標	(6)産業を活性化して、まちを元気にします				予算・事業名 予 算 書 上 の	款	7款 商工費				
	こんなことに取り組みます	行政内部や関係機関との連携を強化し、新たな工業用地の創出や企業誘致を進めます。					項	1項 商工費				
							目	2目 商工業振興費				
	みんなで目指すまちづくり 指標名	市内の法人数					事業名	5 産業経済活性化事業				
		現状値(H25)	898	実績値(H26)	922	実績値(H27)	894	実績値(H28)		目標値(H29)	930	(単位)社
						総合戦略		■該当する □該当しない				

②事業の概要

目的 (何をどうするために)	★地域経済の活性化や地域雇用の安定のために、既存企業の経営の安定を図るための支援措置を講ずることにより、財政基盤の安定化を図る。		
対象(誰・何を対象に)	企業又は個人事業主	対象の数量	企業又は個人事業主
最終目標 (最終的に何がどうなれば達成か)	☆企業への支援措置を講ずることにより、市民生活の基盤である産業が安定するとともに、地域経済が活性化し、産業活動が活発に行われることで、税収の安定的な確保につながり、市の財政基盤が強化され、まち全体が元気になる。		



③事業にかかる事業費概要

平成 27 年度 (当初予算額)		決算額		主な内容	
事業費総額 (千円)		154,059	152,265		・報償費 12 千円 ・負担金、補助及び交付金 152,253 千円
財源内訳	一般財源	83,508	82,315		
	特定財源	国・県支出金	70,551	69,950	
		その他	—	—	
補助事業・単独事業の別		補助事業	補助事業		

④平成 27 年度の実施内容（目指す姿の実現に向けて、どんなことに取り組んできたのかを整理する）

	何を・どのように・どうした ※箇条書きで記載する	いつ(年月)	アウトプット
実施内容	◆企業と工場建設などの新たな設備投資に伴う協議・調整を行った。	H27.4～	10社
	◆奨励金交付申請の受付・審査・交付手続きを行った。	H27.7～	3社
	◆補助金交付申請の受付・審査・交付手続きを行った。	H27.7～	3社
	◆企業の再投資を促す制度を創設した。	H27.8	1制度
	◆企業の新たな設備投資に対し、奨励金・補助金の認定を行った。	H27.12～	3社
参画・協働・ 情報共有の工夫	★市内の金融機関に支援制度の情報提供を行った。		
進捗状況	当初に掲げた計画どおり、順調に進んでいる。		
実施内容に 対する成果 (事業の自己評価)	☆市内の多くの企業から支援委制度に関する問い合わせを受け、企業ニーズを把握することができた。		

⑤課題と今後の取組みの方向性（平成 27 年度を振り返り、課題を抽出し、今後の取組みの考え方を整理する）

課題	今後の取組みの方向性
<u>(1) 変化する企業ニーズの把握</u> ・企業の設備投資は、企業を取り巻く経済情勢によって大きく左右される傾向があることから、企業との情報交換の機会を創出することが重要である。	・変化する企業ニーズ、景気動向や投資意欲を把握するため、企業訪問を実施する。
<u>(2) 停滞する臨海企業の設備投資</u> ・平成 27 年 1 月に、工場立地法の規制緩和を行い、臨海部の企業の投資環境を整えたことから、その効果を検証する必要がある。	・臨海部の企業ニーズを把握するため、企業訪問を実施する。

⑥課題解決に向けた平成 28 年度の具体的なアクション（案）

	何を・どのように・どうする ※箇条書きで記載する	いつまでに (年月)
計画(案)	◆企業の景気動向や企業ニーズを把握するため、企業訪問を実施する。	H29.3
	◆支援制度をPRし、支援制度を活用する新たな企業を発掘する。	H29.3
参画・協働・ 情報共有の工夫	☆企業訪問により企業の景気動向や企業ニーズを把握し、事業の推進を図っていく。	

特記事項	
------	--